

厚木秦野道路

神奈川県央・県西部の新たな東西交通軸の形成を目指します。

厚木秦野道路は、厚木市中依知から秦野市八沢へ至る国道246号のバイパスとして、東名高速道路、新東名高速道路、圏央道と連結し、地域交通の強化・円滑化を図ることを目的とした自動車専用道路です。

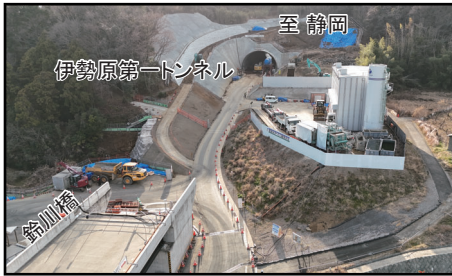
令和4年4月16日に新東名高速道路の伊勢原大山IC～新秦野ICまでの間が開通、国道246号秦野IC関連もあわせて開通しました。

■計画の概要

厚木秦野道路	
計画区間	厚木市中依知～秦野市八沢
規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
延長	約29.1km
車線数	4車線

令和8年度の事業

横浜国道事務所：調査を推進します。
川崎国道事務所：調査設計、用地買収、改良工事、橋梁上部工事、橋梁下部工事を推進します。

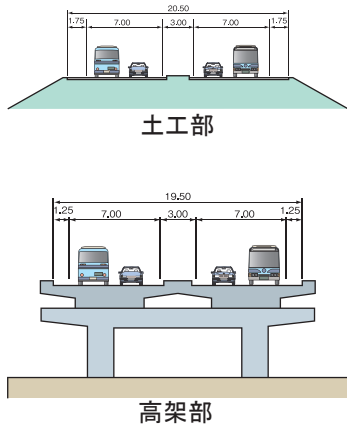
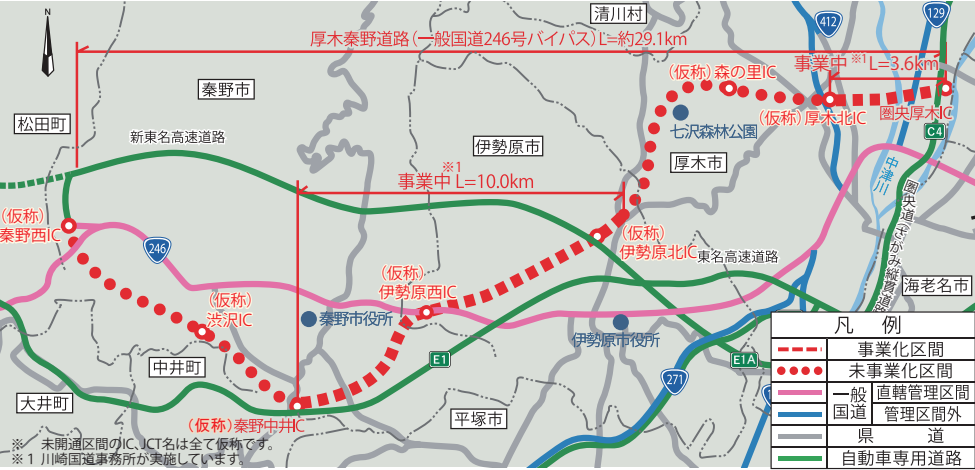


鈴川橋上部工 (令和8年1月撮影)



厚木秦野道路の空撮

■事業位置図



E1A 新東名高速道路(海老名南JCT～御殿場JCT)の整備状況(NEXCO中日本)

新東名は、神奈川県と愛知県を結ぶ約250kmの高速道路です。新東名新秦野IC～新御殿場IC間の整備により、円滑なモビリティの確保、物流効率化への貢献、都市の再生などの効果が期待されています。



①小山PA (仮称) 付近 (小山町) の工事状況 (R8年2月撮影)



②やどりき双扇橋 (工事中名称：中津川橋) (松田町) の工事状況 (R8年2月撮影)



東京湾岸道路

湾岸地域に立地する諸都市、諸施設の機能の効率化に寄与し、神奈川の産業・経済の発展を支えます。

東京湾岸道路は、東京湾周辺の横須賀、横浜、川崎、東京、千葉、木更津および富津等の諸都市を連絡する延長約160kmの幹線道路であり、内陸部の交通緩和を図るとともに、湾岸に立地する諸都市、諸施設の機能の効率化に資することを目的とした道路です。

また、わが国の国際競争力強化のため、国際コンテナ戦略港湾や国際空港を支えるネットワークとして、物流の効率化に貢献します。

■計画の概要

計画区間	川崎市川崎区浮島町～横須賀市夏島町
規格	第3種第1級、第4種第1級
設計速度	80km/h、60km/h
延長	約35.1km
車線数	4～8車線

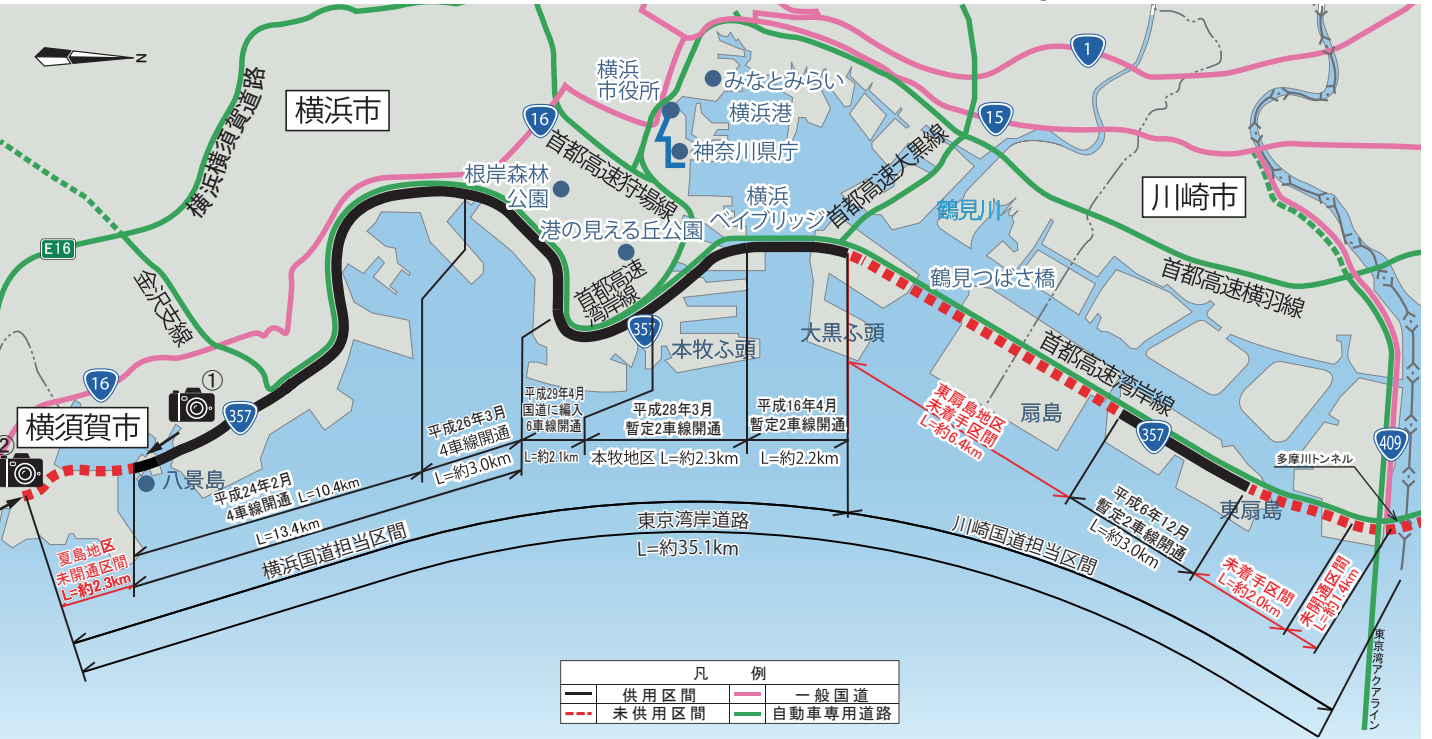
令和8年度の事業

調査設計、夏島地区改良工事を推進します。

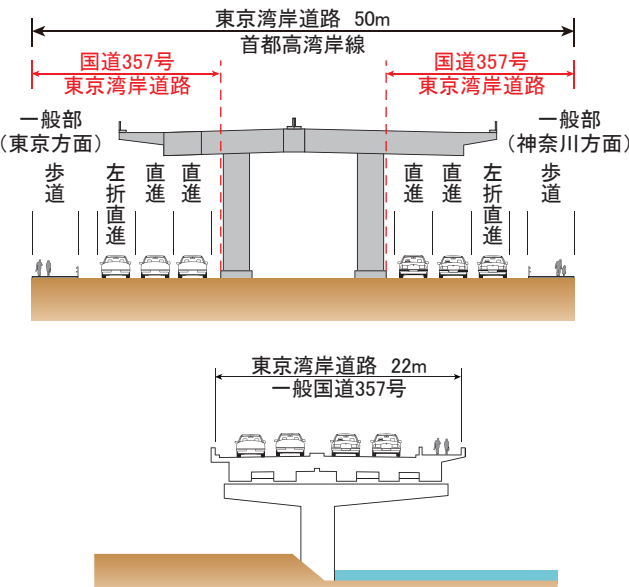


①東京湾岸道路の空撮 (令和7年2月撮影)

■事業位置図



■標準横断面図



②横須賀市夏島町 改良工事状況 (令和8年6月撮影)